

## 袖ヶ浦福祉センター等改善状況調査（概要）

### 【 養育園 】

#### 1 改善状況で評価できる点

- (1) 利用者の人権の権利擁護、虐待防止の取組
  - ・グループミーティングでは、支援員は、他の班の状況を知ることができ、また、他の支援員から支援のアドバイスを受けることができる。支援の現場とは別に、意見交換ができるまとまった時間があるという意味で有意義であった、との声が聞かれた。
- (2) 利用者の立場に立った福祉サービスの提供
  - ・支援にあたって通常よりも多く人手が必要になる場合には、他の班から応援が得られるようになっている。班を越えて協力をし合う体制が築かれている。
  - ・利用者の健康状態について、気軽に看護師に相談できる環境にあるなど、専門職と自然に連携がとれる体制ができている。
- (3) 職員の資質向上と人材育成
  - ・研修を通して支援員は多くの気づきを得ている。また、研修をきっかけに自らの支援について振り返りがなされている。
  - ・外部講師による研修は、外部の方の養育園における支援に対する見方について知ることができるという点で新鮮であり、また、新たな視点で自身の支援を見つめ直すことができ、ためになった、との話が聞かれた。
- (4) 支援現場の透明性の確保
  - ・保護者会の実施や医療相談への同席、また、園内での利用者の状況の報告などの機会を通じ、保護者との関係を構築する努力が図られている。保護者からも、風通しが良くなったとの声がある。
- (5) 地域生活移行
  - ・卒業生の進路決定に向けた取組みが行われている。
- (6) その他
  - ・養育園における事件の前に比べ、今は、支援員が自分の意見を述べることができる状況になっている。養育園の雰囲気が良い方向に変わってきていることが感じとれた。

#### 2 今後も継続的に改善を必要とする点

- (1) 利用者の立場に立った福祉サービスの提供
  - ・引き続き、パーソナルサポーターや外部の関係者と密接に連携をとり、より良い支援の実現に努めること。

#### 3 その他（あらたに改善を必要とする点等）

- ・特になし。